



奈良PHP友の会 第20回「心の講演会」in東大寺」報告

- ・日時:2025年6月7日(土) 13時30分から17時
- ・場所:東大寺本坊～東大寺大仏殿～指図堂(サシズドウ)
- ・参加者:98名(一般44名・PHP会員54名)

梅雨入り直前、幸いに雨もなく、全国から、98名の方が東大寺の本坊に集合。

日頃は一般公開されていない「本坊」で**東大寺 執事長の
上司永照(カミツカサエイショウ)先生**の講話。演題は「**すべての華で厳(カザ)る**」で
華厳教や東大寺の歴史など貴重なお話を拝聴しました。

「華厳」は、「**雑華嚴浄(ザツケゴンジョウ)**」の略であり、
**全ての花は、全ての生きとし 生けるものであり、浄らかな華で厳るとするのは、
その一つ一つに意味を持って生きること**

- ・東大寺の焼失や大仏さんの復興のお話。特に源頼朝が東大寺復興の為に尽力し、落慶供養に参列。**会場の本坊に頼朝、北条正子が滞在した**との事
- ・修二会(お水取り)での「過去帳」の読み上げのヤマ場は、源頼朝そして青衣の女人(ショウエノニヨニン)・・・などの興味深いお話。

**上司先生は、修二会(シュニエ)(お水取り)に
32回参籠されています**



講話の後は、東大寺大仏殿と指図堂を拝観

大仏殿では、全員が登壇参拝し、日頃は見ることができない大仏さんの素顔をまじかに見ることができました。**指図堂**は、浄土宗の堂。東大寺復興に当たった重源上人が法然上人を招いた為、東大寺と浄土宗との親密な関係が続いた。

指図の名は、復興の際、この場所に計画図面を掲げた事に由来。



大仏殿



指図堂

本坊～大仏殿～指図堂

